

# 事例 京都スタジアム（仮称）

設置者：京都府

## 施設の概要

予定地：京都府亀岡市（JR亀岡駅北口より約300m地点）

敷地面積：約3万2,000㎡

計画施設：スタジアム3万3,000㎡（観客席数約21,500席 うちVIP席約200席、個室席約600席、車いす席約100席）、商業施設（北サイドスタンド、バックスタンド下の空間を有効活用し、商業ゾーン2,000㎡、クライミングウォール1,000㎡）、駐車場施設

賑わいの創出に係る事業の可能性：観光ツアーの食事場所としてレストランを活用、大型バスが駐車できるように駐車場を利用。VIPラウンジ、ビジネスラウンジは会議室、宴会場に利活用を想定。

## コンセッション事業の検討状況

- ・ 公共施設の種類：スタジアム（新設）
- ・ 平成28年度、内閣府「民間資金等活用事業調査費補助事業」の支援対象となり、民間事業者の意向調査やVFMの算定によりコンセッション方式の導入の有効性について調査を実施中。
- ・ 現在、施設の実施設計中であり、平成31年度の開業を目指す。

## ビジネス創出に係る考え方

### ①スタジアムを核とした周辺施設を含めた賑わいの創出について

京都サンガ(J2)の本拠地となるスタジアムには、スポーツクライミング(オリンピック種目)の施設やレストラン、カフェ等の店舗が出店できるスペースの整備を計画。

また、スタジアム周辺では、地権者が設立した組合による区画整理事業が行われており、商業地や住宅地が整備される予定。

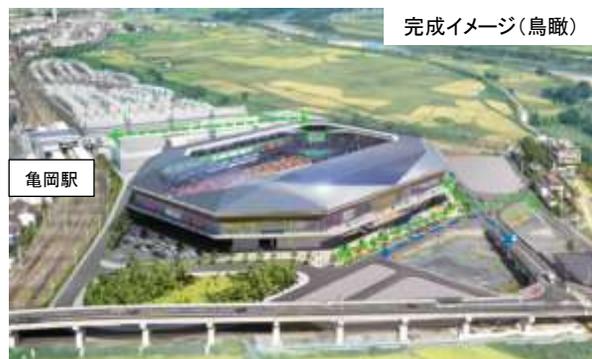
### ②スタジアムの維持管理・運営について

施設の運営・維持管理業務やにぎわい創出の企画提案は、民間に担ってもらいたいと考えている。天然芝については、管理コストを低減するため、亀岡の気象条件に合った芝種が選定できるよう試験育成を実施予定。

営業収入として、サッカーやその他の球技イベント、スポーツ以外のイベント実施のほか、広告収入、商業ゾーンのテナント代等を見込んでいる。

### ③年間の稼働計画について

Jリーグの試合はもちろん、AFCチャンピオンズリーグやオリンピック日本代表戦等国際試合の開催を想定。観客席に付いた個室(企業・グループ向け)・スタジアム内諸室等は、駅近の立地を活かし、貸会議室など日常のコンベンション機能として有効活用することを想定している。



スタジアムの断面図

